

会 議 録

1 会議名

平成30年度第7回吉川区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

(1) 部会検討事項等について

(2) 吉川区地域協議会委員視察研修について

・報告事項（公開）

(1) 可搬ポンプの譲渡について

(2) 敬老会について

(3) 第12回えちご・くびき野100kmマラソンの中止について

3 開催日時

平成30年10月18日（木）午後6時30分から午後8時17分まで

4 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐豊、上野康博、薄波和夫、片桐利男、片桐雄二、加藤正子、
佐藤 均、関澤義男、中村正三、平山英範、山岸晃一、山越英隆、
横田弘美

・事務局：小林所長、大場次長（総務・地域振興グループ長兼務）、市民生活・
福祉グループ小池グループ長（教育文化グループ長兼務、以下グループ長はG長と表記）、総務・地域振興グループ南雲班長、保高班長

8 発言の内容

【大場次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・委員13人の出席を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告。

- ・会議録の確認：片桐雄二会長

【片桐雄二会長】

- ・挨拶

【大場次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務める。

【片桐雄二会長】

- ・当日の次第の確認
- ・関連する報告事項の整理
- ・会長報告
 - ① 頸北地区地域協議会委員合同研修会について
 - ② 公共交通懇話会の内容について
- ・委員報告を求める。

【山岸副会長】

- ・第6次総合計画後期基本計画（案）説明会への参加報告
- ・吉川体育館の照明の修繕要望

【大場次長】

- ・事務局報告
 - ① 可搬ポンプの譲渡について、報告資料No.1に基づいて報告。
 - ② 敬老会の開催結果について、口頭で説明。当日の参加者数、参加率、新たな取組の内容等を中心に報告。
 - ③ 第12回えちご・くびき野100kmマラソンの中止について、報告資料No.2に基づいて報告。

【片桐雄二会長】

- ・今ほどの報告に対して、委員から質問等はないか。

【片桐利男委員】

- ・可搬ポンプの譲渡に関し、譲渡の要望がなかった場合のことを質問したい。まず、使用できないポンプは処分するとのことだった。現に使っているもので使えないものはないと思われるが、実際はどうか。それから、使えるものは予備として保管する

とのことだったが、何台くらいを確保する予定なのか。

【大場次長】

- ・今後、消防団で点検してもらうが、動くことは動いても修繕が必要なものがあるだろうと思われ、そうしたものは処分したいと考えている。使えるものの数は、現在は把握できていない。
- ・また、そのまま使えるものは代替機として保管したいと考えている。

【片桐利男委員】

- ・もう一点。町内会に宛てて送付された文書には、要望がないものは保管すると書かれているが、例えば5台程度を保管しておくつもりだったところ、10台も引き上げるようになったという場合には、別の団体に譲渡することは可能か。

【大場次長】

- ・現在、把握している中では、譲渡を希望しているのが10町内会、不要との回答は3町内会、未回答が3町内会である。この不要とされる3台は点検し、大きな修繕が必要なら処分することを考えている。

【片桐雄二会長】

- ・他に意見はないか。

【委員】

(発言なし)

【片桐雄二会長】

- ・ないようなので、協議事項に移る。
- ・最初に部会検討事項だが、先月以降、各部会での話し合い等を行ってれば、報告願いたい。

【上野委員】

- ・暮らし・支え合い部会では、10月15日に7会場で出された発言に対する部会での検討を、全て終了した。
- ・資料を今日の会議で配って報告したいと思っていたが、公開文書にするには内容を良く確認してからのほうが良いと事務局から言われたので、今日は配布しないことにした。承知願いたい。

【保高班長】

- ・上野部会長の報告のとおり、暮らし・支え合い部会では15日に部会を開催し、部

会長からは会議の報告資料を昨日の夜遅くにメールで送信いただいた。随分、遅い時間に送信されていたので、この会議に間に合わせるために努力していただいたと感じたが、二つの理由で今日は、資料提出を控えていただくようお願いした。

- ・一つ目の理由は、今朝になって受信した資料なので、会長、副会長の点検を受けておらず、会議の資料にするには手続き上の疑問があること。
- ・もう一つは、各会場の発言者が地域協議会の会議録として先に資料のみを目にすることなどがあると、文面だけで判断して気を悪くする可能性があること。部会が意図していない悪い解釈を招かないよう、文面の点検が必要だとお話した。
- ・部会長の努力を見ていただけないのは心苦しいが、今回の会議への資料提出は遠慮していただいたのが経過である。事務局も含めて、再度、内容を確認し、来月、皆さんに見ていただけるように準備するので、ご了解いただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・了解した。後日、会長、副会長も確認させていただき、来月の地域協議会に上がるよう、準備していただきたい。

【平山委員】

- ・安全・安心部会は、前回の地域協議会の閉会後に部会を開いて、これまでと同様、担当する課題を一つ一つ精査した。
- ・その中で、協議会の皆さんで検討してほしいことがある。吉川区全体の防災訓練を行えないかという内容である。町内会単位では防災訓練を実施しているところがあると思うが、吉川区全体では今まで行っていないと思う。部会としては、協議会で話し合っているいろいろな意見を出してもらいながら、実施すべきか、不要かも含めて検討してほしい。

【片桐雄二会長】

- ・安全・安心部会から検討事項が提案されたが、ひとまず、部会の活動報告を先に聞きたい。次世代担い手部会の報告を先にお願したい。

【関澤委員】

- ・前回の地域協議会で報告した2つの案件を主軸に、団体との調整を行っているところである。

【片桐雄二会長】

- ・それでは、安全・安心部会から、吉川区全体の防災訓練の実施を協議会として検討

してほしいとのことだったので、皆さんの意見を聞きたい。

- ・その前に、総合事務所長からこれに関連する発言はないか。

【小林所長】

- ・防災訓練は、区を単位として計画的に実施している。区全体としては年次的に取り組んでいるところであり、この場で行政として、希望に添えるとか添えないという判断は難しい。
- ・現在、消防団方面隊においても、それぞれのエリアで町内会から協力してもらいながら訓練をしているし、今回の原子力防災訓練もエリアを指定し、町内会と連携をとりながら行っている。
- ・現在、区単位における訓練対応は難しいものであり、市全体或いは消防団という形での訓練の形を採っているため、ご理解いただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・総合事務所長から現状が示されたが、吉川区全体で防災訓練を行うのはなかなか難しいとしても、皆さんの要望や意見をまとめ、それを地域協議会の意見として上げれば、それに対する回答がある。平山部会長から協議会に対して提案があったことに対し、協議会としての協議は必要と考える。
- ・最終的には、区全体の防災訓練についての要望を出すのか出さないのかに繋がるのだが、訓練を行うべきかどうか、その必要性に対する皆さんの意見をいただきたい。事務局、そのことに何か問題はあるか。

【大場次長】

- ・上越市の防災訓練は県と合同で行っており、地区を変えながら取り組んでいる。浦川原区で行い、高土地区で行い、今年は中止になったが清里区で行うことになっていた。そうした順番が巡ってくれば区全体で実施できるだろうが、要望を出してもその通りにならないものと思う。
- ・実施するのなら、各地区、各町内会の自主防災組織で防災訓練をして、防災に対する意識を醸成し、例えば防災士会や自主防災組織の役員が主体になって計画するというやり方もあろう。ただ、行政が主体で行うというのは、今は考えていない。

【片桐雄二会長】

- ・次長が示した内容もここで協議をして、それをやるのなら防災組織でまず行うとか、地域で行うとかというのも委員同士の意見交換なので、そのことを含めて話し合い

たい。先ほどの説明にあったように、区全体のものが順番に行われているなら、そのうちに吉川区にも巡ってくることも期待できるだろうが、現時点でも地域協議会がその必要性を感じているとなれば、意見書を提出してその回答がどうなるのか、そこはこれから協議しないと分からない。

- ・協議会として話し合う前から、それは無理だから協議をしないということにはならないと思う。皆さんには、私の考えについても含めて、意見をいただきたい。

【片桐利男委員】

- ・災害にはいろいろなものがある。雨、風、火事、津波などがあるので、一括りで防災、総合的に取り組むと言っても、前提としてのいろいろな準備が必要かと思う。
- ・市の説明にあったとおり、市は県と協議しながら実施しており、全ての災害に対応しようという内容ではなく、ある程度、災害を想定した中で、この場合はこう、この場合はこうという仕切りをしていると思う。
- ・仮に、地域協議会で訓練について話し合うにも、地形や人が住む場所も違うので、吉川区には吉川区の防災訓練があると言っても、何を対象に行うかから話し合いを始めなければいけないのではないか。

【片桐雄二会長】

- ・佐藤委員はどう考えるか。

【佐藤委員】

- ・このことについて、意見はない。

【片桐雄二会長】

- ・各委員、順番に発言してほしい。薄波委員の意見はどうか。

【薄波委員】

- ・区全体の防災訓練というのは、やはり人が動くとなると非常に難しい面があるので、そういう点では現実的ではないと思う。ただ、町内会或いは集落ごと、分団ごとにいろいろと行っているのは、それぞれ限られた範囲で動ける人を対象に訓練しているものと思う。だから、区全体で防災訓練を行うことは必要だと思う。
- ・片桐利男委員の意見のとおり、その内容によるものと思う。何を想定しているのか。どのように実施するのか。その辺りをきちんと考えておかないと、皆さんにも生活があるので、当然、混乱が生じるだろう。例えば、一つの方法として、人が動かないで良いような防災訓練の方法もあるかと思う。情報の伝達だけの訓練を区内全域で

行うとかということも想定できるだろう。防災訓練の実施方法を工夫して、全体の中で、やはり災害が起きた時にどういう状態で、どうそれぞれに中央部が把握できるのか、そういう訓練も必要だと思うので、工夫して行えば良いと思っている。

【上野委員】

- ・旭地区には8集落あり、ほとんどの集落に自主防災組織があると思われるが、私が聞く限り、その中で防災訓練を行っているのは2集落のみで、他の6集落は行っていないようだ。自分の住む田尻でも、自主防災組織ができた年に消防署から来てもらって消火器や AED の使い方に関する訓練などを行ったが、その後は実施できていない。
- ・私の感じでは、旭地区では地区全体の訓練をしようとの声はまだ上がっていないと思う。

【五十嵐委員】

- ・区全体で行うとなると、きちんとしたシナリオを作らないと、何をしたのかはっきりしないような結果になってしまう。その辺りは、実施する際にきちんと検討しなければいけない。
- ・各町内にある自主防災組織の活動を如何に活発にするかに注視すれば良いのではないか。小さな集落もあるし、大きな集落もあるが、一集落でできなければ隣の集落と合同で行うとか、方法はいろいろあると思う。要は自主防災組織がもう少し活発に活動できるようにするほうが良いのではないか。

【中村委員】

- ・皆さんの発言のとおり、単純に防災としてひとつの袋に入れて考えれば、何が何だか分からなくなるのが難しさだろう。例えば、訓練を区全体で行うには、すごいエネルギーが要る。もちろん、実施するに越したことはないが、現状ではまだ無理かという印象だ。
- ・自主防災組織の話も出たが、まさにそのとおりであって、町内会長の考え一つで組織の動きも大きく変わってくる。だから、自主防災組織の活動を促進するPRが必要だ。自分の住む山中は小さな町内だが、小さい所では小さいなりに避難訓練の仕方や、避難の場所など、様々なことが他の所とは違って来る。そういうことも含めて、もう一段下げた段階での身近な組織から活性化していくという、五十嵐委員が言われたそのことが大事だと思っている。

【山越委員】

- ・先に質問だが、市が行っている訓練は実施される地域の順番が計画的に決まっているのか。

【大場次長】

- ・年次的なものまでは決まっていないと思う。ブロックごとに、その時の内容によって決めなければいけないこともある。

【山越委員】

- ・吉川区の順番が回ってくる時期というのは、分からないということか。

【大場次長】

- ・それは分からない。

【山越委員】

- ・私も安全・安心部会に所属しており、防災意識の啓発につながればと思って意見を出しているのだが、各委員から意見が出たように、仮に実施となればその方法についてはきちんとしたものを作らないといけないものと思う。
- ・確かに個別の自主防災組織がどの程度に活動しているのかを、私たちもまだ把握していない現状なので、その辺りから積み上げていく必要があると感じた。

【横田委員】

- ・区全体の防災訓練となると、地震や水害などの大規模災害を想定することになると思うが、町内会単位で訓練をして、確認して、失敗しながら積み上げていくものだと思う。また、区全体で行うには整理すべきことがたくさんあり、実施することは、難しいと感じる。
- ・区全体で実施すること自体に対しては、災害の情報伝達や避難所の開設訓練などが内容の中心になるだろうし、非常に意義があることだと感じる。ただ、その段階まで整理がされていないだろうと思っている。

【加藤副会長】

- ・吉川町時代に赤十字や食生活推進の役員をした経過があり、毎年、防災訓練に出ていた。町の頃には4年に1回、町全体の訓練を行い、その間の年には旭地区、源地区、吉川地区の単位で行っていた。
- ・例えば、炊き出し一つにしても、おにぎりに始まって、特殊な袋を使った炊飯の体験もした。自衛隊や消防署に来てもらったこともある。当時は、その他にもいろいろ

ろな体験を取り入れていたし、地区ごとに地域性ある取組を行って、幾度となく経験させてもらった。

- ・横田委員の発言のとおり、訓練は意義があることで、日頃の積み重ねや心の準備が重要だ。私も必要だと思っているので、是非、吉川区でも防災訓練をできれば良い。
- ・ただ、大掛かりにしたから良いものではなく、やはり小さいものから積み重ねるのが一番良いものと思う。

【山岸副会長】

- ・自主防災組織、消防団、行政、自衛隊、消防署、警察。実際に災害が起きるとこの団体が活動するので、それぞれの団体が個別に訓練しているのは重々承知しているが、連携することで効果が非常に上がる訳で、その連携する場面をどう作るべきか。
- ・数か所で同時に発生したような想定をしながら行えば、現在、個別に行っている取組ではまだ意識が薄いだとか、課題が出てくる。その意識を高めるために連携をとるための想定訓練をどこかで行っていかないと、各組織は絵に描いた餅になり、なにも機能しないということになりかねない。
- ・そのようなことで、私は区全体での防災訓練の実施を強く希望しているし、実施に向けて関係各位との調整を進めたほうが良い時期にきているものと思っている。

【片桐雄二会長】

- ・皆さんから意見をお聞きしたが、区全体での防災訓練を実施できれば良いというのは統一的な意見だったと思っている。しかし、すぐに実施できるかと言えば、現状では難しいとの意見が多かった。
- ・委員の発言にもあったとおり、近年は自主防災組織が整備されるとともに、各集落に居住する高齢者の把握などがされている状態だが、確かに各自主防災組織において訓練等を実施しているかどうかは、我々も把握していない状況だ。
- ・行政からは年に1回、防災組織で活動をするようにとの指導がされているが、事務局において活動の状況を全て把握できているか。

【大場次長】

- ・春の町内会長連絡協議会で、自主防災組織の訓練をしてほしいことや資材の補助金について、PRをしている。
- ・訓練をする場合には事前に訓練日や訓練内容を所定の様式で提出してほしいと伝えているが、その提出なしに実施している町内会もあると思われる。しかし、訓練の

実施率はかなり低いものと考えている。

【小林所長】

- ・補足になるが、吉川方面隊でも放水訓練や各エリアでの想定訓練を行っている。その時には、訓練場所周辺の町内会の皆様からご協力いただきながら実施している。皆様の地域や町内会でもそういう機会があるので、そちらへの働きかけ、地元町内会への声掛けもお願いしたい。

【片桐雄二会長】

- ・我々、地域協議会としては、例えば区全体の防災の活動であれば吉川区の総合事務所との調整をしながら、その実施について協議することになると思うが、我々が地域の住民に訓練しなさいと言うのは上から目線になり、申し上げられる立場にないと思っている。
- ・いずれにしても当協議会の立場として、現在ある自主防災組織の防災活動なり訓練なりを、行政から支援をしていただきたい。
- ・確かに私が住む国田でもしばらく前になるが防災の関係で発電機や照明灯などを購入した。それに関連して何年かは防災訓練をしたり写真で報告したりしていた。集落によってはそれを行っている所もあるものと思う。
- ・上野委員の発言にあったように、旧小学校区でどういう連携ができるかということも問題になると思う。それについては、当協議会から吉川区全体での防災訓練の実施を要望したい気持ちはあるが、すぐに実現するのは難しいと判断されるので、皆さんの意見が一致していると思うので、行政側にも吉川区で自主防災組織の訓練の推進に対し働きかけをしてもらえればと思う。

【小林所長】

- ・町内会長連絡協議会の会議が春と秋に開催されている。その中でも、再度、働きかけをしたい。区単位の訓練に関しては、市主催のものが順次、回っているので、事務所として即、取り組むという考えは持っていない。

【片桐雄二会長】

- ・他の区で行った防災訓練等の資料などがあれば、後日で良いので皆さんの参考資料としてお示しいただければと思う。

【大場次長】

- ・区が行っている所はないものと考えている。上越市全体での取組として、ブロック

を決めて行っているものだ。

【片桐雄二会長】

- ・皆様のご意見を受けて、当協議会では現時点で、吉川区全体の防災訓練の実施について要望を出さないということで良いか。

【上野委員】

- ・防災士には、それを全体的にとりまとめる上部組織のようなものはあるのか。

【小林所長】

- ・2、3年前に防災士の上部組織が設立され、情報の共有や市全体の防災訓練などにおいても役割を担っていただいている。

【上野委員】

- ・全体の司令塔というか、調整組織に当たる組織があるということか。

【大場次長】

- ・防災士は災害時にどういう行動をするべきかなどの知識を、2、3日の講習を受けて取得してもらって資格だが、各町内会にその資格者が必ず1人いる状態にしてもらうため、市が1人目の受講料を負担して資格取得していただいた。
- ・吉川区でも昨年、何人かに取得していただいたが、各地区に支部を作って、上越市全体で防災士会を組織している。その方々に、できれば自主防災組織の訓練等で中心的な役割を担っていただき、計画等をしていただけると防災士としての役割が果たせると考えている。自主防災組織で訓練を行う場合に困るようなことがあれば、総合事務所に連絡いただければ、防災士を紹介する。

【片桐利男委員】

- ・梶町内会で年に一度、訓練を実施している。防災士の野呂さんに来ていただき、いろいろ教えていただいたこともあった。その中で、全ての災害に対して言えるのは、炊き出しの重要性である。なかなか炊き出しの訓練はしたことがないし、普段はする必要もない。市がやっている総合訓練の中に炊き出しが含まれているかは分からないが、今、一番に難儀なのは炊き出しだと思われる。
- ・次長も、自主防災組織で訓練をする時に必要なものは、ある程度まで補助すると話していたし、会長も発電機のことにも触れた。私の集落にも発電機があるし、ガスの用具や寸胴鍋まであるのだが、ここしばらくは炊き出しの訓練をしていない。各自主防災組織や防災士に、そういう機材は揃っているのかを確認してもらえれば、地

域でも炊き出しを実施してみようかという動機づけになると思うので、機会があれば話してもらい、自主防災組織が活気づくように配慮していただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・先ほど、上野委員から質問があった防災士の会に関しては、次長が言われるように防災士を育成する一方で防災士の連携をとればという内容になってはいるが、防災士の組織自体がまだ成熟していない状態なので、なかなかそれがピラミッド型にはなっていない状態だ。
- ・それなら、避難指示はどうなるのかとなれば、そういう組織が実際に自主運用になる際に、どこからそういう指示が来るのかなど、まだ明確になっていない。だから、あくまでも自主避難、自主的な災害対応が求められている。そういうところがもう少し充実した状態になって成熟すると、また違った展開になるかと思う。
- ・いろいろご意見をいただいたが、実際は訓練をしたいとの希望はあるものの、現状では我々はそのような立ち位置にないというところでは、今後の行政の指導を見ながら、逆にそれぞれの連携によって組織が充実するところを見ていければと思っている。
- ・そのため、安全・安心部会から提案があった区全体の防災訓練の実施については、協議会としては要望しないということに決したい。それでよいか。

【山岸副会長】

- ・協議会で要望する云々ではなくて、これは我々が区内で選出されて出てきている立場からすれば、今後、これは検討課題として残しておくべきだと思う。それで、今回のことは、どこにこれを行ってくれということではなくて、結局、現在ある組織がこれまで以上に活発に活動できるように促す、啓蒙活動になるものと思う。行政に頼りがちになるが、実は自分で自分の身を守るのが一番の根本である訳で、町内会は町内会で守るべきだ。とはいえ、訓練をしている所としていない所、訓練はしても机上の訓練しかしていない所があり、誰がどこにいるのか分からない、いざ災害が起きた時にその人の家族がいなければ誰がその人を助けに行くかという具体的なことまで踏み込めていないということが実は問題で、こういう面ではせっかく自主防災組織があっても、なかなか機能していないとの懸念がある。
- ・だから地域協議会としては、地域でそうした機会を作って啓蒙して、自分の所は自分で守るという意識をもっと醸成してもらいたいという結論に向かうべきだと思う。

【片桐雄二会長】

- ・協議会として、どういう方向にしたら良いのかという話になる。そこを具体的に山岸副会長から示してもらえれば、皆さんもまた意見があるだろうから、お願いしたい。

【山岸副会長】

- ・防災士と、どのような訓練ができるのかを検討しなければいけないし、町内会長等と実際にどのように動けばいいかを検討しなければいけない。これを行うには、諸団体と連絡を取り合わなければいけないし、会議も持たなければいけなくなる。取り敢えずは、旧小学校区が良いのか、そうではなくて、いざ、地震が起きた、或いは日本海から津波が押し寄せて川が氾濫して隣の集落に行けなくなったらどうするのかななどの想定を全体的にしなければいけない。
- ・私自身、これは防災士の範疇だろうと個人的には思っているし、そういうものを作っていたくことを、我々が求めるべきか疑問なのだが、地域協議会として、部会として、具体的にどう動けば良いのかを検討したいと思っている。

【片桐雄二会長】

- ・他の委員から意見はないか。

【五十嵐委員】

- ・この件に関しては、一旦、安全・安心部会で、今日の皆さんの意見を踏まえて検討し、また報告してもらえれば宜しいのではないか。

【片桐雄二会長】

- ・五十嵐委員から、部会に持ち帰って検討していただくべきとの提案があった。現段階では、地域協議会から避難訓練の要望は出さないということになれば、部会に持ち帰っていただくことになるかと思う。それで宜しいか。

【平山委員（安全・安心部会長）】

- ・了解。

【片桐雄二会長】

- ・難しいのは、例えば防災訓練の実施についてどうするかという時に、我々が防災士の人たちと意見交換をしながら各集落に防災訓練をなささいという立場にないので、我々が一緒に訓練するから、さあ、みんなでという話にはならないところだ。そこを見誤ると、また方向が異なってしまう。我々はあくまで、地域の住民の声を反映

して、行政に対して要望を出す立ち位置である。我々が先導してというのは難しい部分だと思うので、その辺りも含めて部会で協議していただきたい。

【上野委員】

- ・今、思い出したのだが田尻では、確か平成26年に大雨が降った際に集落の2か所で亀裂が入って、消防団からその場所で土嚢を積んだりブルーシートを張ったりしてもらったことがある。その時に自主防災組織のメンバーに連絡して、手伝ってくれと頼んで、みんなから気持ち良く集まってもらった。
- ・まず、消防団には朝から頑張ってもらって空腹だろうからと炊き出しをし、防災組織の役割分担に従って飲み物を調達した。炊き出しの訓練など全くしていなかったが、私たちのその日の行動は、かなり高いレベルの対応ができたのではないかと考えている。
- ・訓練しなくても良いとは言わないが、大災害でない限りは、皆さんも集落の中でお互いに助け合うという気持ちが、かなり重要な部分ではないかと考えている。

【片桐雄二会長】

- ・災害はいつ、何が起きるか分からない。その時に、自主防災組織がうまく機能できるようにというのが、皆さんのお考えかと思う。横の連携はまた別の問題になる。

【小林所長】

- ・いろいろとご意見をいただいた。山岸副会長が言われていたが、行政では職員の初期対応や避難所の開設、上越市としての消防署や自衛隊、県関係機関と連携した訓練というものを、必ず年1回、実施している。
- ・市でも組織として動くべきことを訓練しているので、是非、地域の皆さんや委員の皆さんからも、地域での取組にお声掛けいただきたい。
- ・繰り返しになるが、ご意見をお聞きした中から、町内会長連絡協議会の際に、補助の関係とも併せて、働き掛けをしたい。

【片桐雄二会長】

- ・では、部会でもう少し検討いただくよう、お願いしたい。
- ・次の案件である吉川区地域協議会委員研修について、協議をお願いしたい。先月の暮らし・支え合い部会の提案を受けて、事務局から調整してもらった案を説明してほしい。

【保高班長】

(協議資料No.1に基づき説明)

【片桐雄二会長】

- ・事務局の説明のとおり、11月19日に研修を行いたい。期日は先方の都合もあるのでこの日としたい。集合時間が少し早いですが、この日程で良いか。

【委員】

(頷く委員、多数あり。)

【片桐雄二会長】

- ・では、研修の日程はこの案のとおりでお願いします。
- ・事務局から、午後の早い時間に吉川に帰ってくるので、11月の地域協議会定例会を、慣例の第3木曜日である15日に行わずに、研修当日に行ったらどうかという提案があった。何回も集まっていたくより、その方が良いと思うが、皆さんの意見はどうか。

【委員】

(複数の委員から「はい。」の声。)

【片桐雄二会長】

- ・では、この日に定例会を行うことにする。
- ・会議の開始時間は、地域協議会が公開の会議なので、研修から帰り次第とか流動的な時間では開催できない。夕方の4時頃から地域協議会を始めることに決めたいと思っているが、異議はないか。

【委員】

(複数の委員から「はい。」の声。)

【片桐雄二会長】

- ・地域協議会の開始時間は、午後4時に決定する。
- ・当日の参加について、皆さんの都合をお聞きしたい。今日の時点で、既にどうしても出席できないという委員があれば、ここで教えてほしい。

【小林所長】

- ・事務局からお願いがある。先ほど担当者は、同行職員は最大で所長、次長、地域振興班2人の4人と説明していたが、別の公用もあり、全員が行く訳にはいかないだろう。お含みいただきたい。

【平山委員】

- ・実施日までに都合が変わった場合には、いつまでに連絡すれば大丈夫か。

【片桐雄二会長】

- ・分かり次第、お願いしたい。前日くらいまではお昼のキャンセルなどもできるだろうが、実施日が月曜日なので、前の週の金曜日までに連絡願いたい。
- ・委員研修と、当日の地域協議会の開催については、これで協議を終了する。
- ・次に、5番の総合事務所からの諸連絡に移りたい。事務局で説明してほしい。

【大場次長】

- ・3点を連絡する。
- ・第14回吉川区駅伝大会の開催について
- ・新潟県知事杯争奪尾神岳スカイグランプリ2018の開催について
- ・吉川区生涯学習フェスティバルの開催について

【片桐雄二会長】

- ・その他に移る。
- ・吉川区地域協議会だより第35号の発行についてである。今回の編集委員は、一巡して五十嵐委員、上野委員、薄波委員に戻るのので、3人でよろしく願いたい。

【上野委員】

- ・発行日はいつか。

【片桐雄二会長】

- ・12月初めになる。
- ・次に、以前から安全・安心部会から提案されている消防団、防災行政無線に関する勉強会だが、前回は少し物足りない内容で終わったということで、12月に実施することを考えている。委員には承知おき願いたい。
- ・まちづくり吉川から、毎年行われる東京吉川会の総会と懇親会への出席の案内が来ている。11月10日、土曜日に行われるということだが、私も私用で出られない。山岸副会長が参加していただけるとのことだ。私も行ったことがないのだが、所長、内容をPRしていただけないか。

【小林所長】

- ・東京吉川会の取りまとめ事務局はまちづくり吉川が担当しており、私も他の区から通っているので、過去の経過等は分からない。

【山岸副会長】

- ・私も二度ほどしか参加していないのだが、竹直の平山さんという方がこの会を発足され、現在の会長も長峰の方である。総会と懇親会で故郷である吉川の住民と仲良くして、そのお返しに越後よしかわ酒まつりの賑わいづくりにも参加してもらおうという、行ったり来たりの関係のものだ。

【片桐雄二会長】

- ・地域協議会から3人ほど参加してほしいとの要望なので、自己負担もあり申し訳ないのだが、都合がつく委員は私に連絡してほしい。
- ・その他として、委員から何か発言はないか。

【関澤委員】

- ・先程も敬老会の報告があった。敬老会に関しては2回ほど、地域協議会で議論したこともある。
- ・私も対象者として参加したので、批判ばかりして評価を述べないと言われる前に、自分の率直な感想等を報告させていただく。
- ・周りの参加者に、今年の内容に対する感想を求めたら、「やはり、言わなければ改善できないのだね。」という答えが多数、返ってきた。地域協議会で話したなどとは言わなかったが、やはり、皆さんの批判の声を聞く中で考えた。
- ・吉川区の人口が4千人、4分の1が敬老会の対象者だ。子どもが少ない中、健康で区のために活躍しているのはむしろ高齢者だと私は考えている。
- ・敬老会は高齢者を取立てて尊敬してほしいものではなく、お祝いする会で、愉快地しなければならない。高く評価とまでは言えないが、改善の兆しあり、良しとするという感想である。
- ・もう一点、「アンケート用紙を用意したのは、良いことだ。」という声が多く聞かれた。私は、せっかくアンケートの提出を受けたので、それを集計し、一般に公開すべきだと考える。即答でなくて構わないが、それを約束できるかどうか、考えを聞きたい。公開することができないならアンケートの価値はないし、不参加の方々にもどうして敬老会に参加しないのかという項目を入れて、全対象者に、あのようなアンケートを提出してもらいたいと思っている。宿題にしてほしい。
- ・事務局も大変だろうが、平成17年の市町村合併以来、ゆったりの郷に敬老会を丸投げにしてきたということだ。それが良いとか悪いとかではないが、職員が一生懸命になって、安い会場の中で、愉快地やっているという頸北の他の地域の例もある

ので、そういうことも今後は反省しながら、皆さんの愉快的顔で高齢者を長生きさせて、吉川の発展のために寄与するための敬老会というものを、もう少し、慎重に考えてもらいたい。

【小林所長】

- ・地域協議会は公開の場なので、お褒めいただいたり、ご意見を頂戴したりしたのものには、きちんと答えさせていただきたい。
- ・アンケート結果では、大半の方から、この時期、この会場、この内容にご賛同をいただいた。個々にはご批判もあったが、これは去年の敬老会に対する意見であり、今回、会社からは様々な改善や新たな取組をしてもらっている。例えば、保育園児の発表やささぐり演芸などの試みも組み入れていただいた。
- ・地域協議会の中では、ご意見やご質問をいただいて回答しているので、敬老会自体の議論はまだ行われていないと考えている。
- ・アンケートはこれからの方向性や運営の参考にさせていただくものと受け止めているので、公開は考えていない。しかし、個々の意見等はできる限り、次回に反映できるように、検討していきたい。

【山岸副会長】

- ・協議会での議論に至っていないというのは、そのとおりだ。私は敢えて、アンケートも竹直地区や原之町でとりながら提案してきて、或いは皆さんの意見を背負って発言してきたつもりだ。
- ・本来なら敬老会に関しては、「出張」地域協議会でも意見が出ていたので、暮らし・支え合い部会の担当だと思っている。暮らし・支え合い部会のほうで、例えば竹直地区で出た意見についてどう取り扱っていくかを煮詰めていただきたいし、最終的にはこの地域協議会で、今後の敬老会の在り方を協議してほしい。そうした要望があるのだから、是非、その方向で、地域協議会員として考えてほしい。
- ・まちづくり吉川にも、受け取り手はあなた方の団体しかないという話をしているし、理事会でもお話ししたのだが、現時点では、地域協議会がこれから審議するのだから様子見という姿勢になっている。なので、それも含めて、地域協議会として先輩諸氏の敬老会をどのように取り扱うか、是非、協議していただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・他に発言はないか。

【小池G長】

- ・山岸副会長から、体育館の照明について発言をいただいたが、現場の状況を確認して、できる対応を調整させていただきたい。

【片桐雄二会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL: 0 2 5 - 5 4 8 - 2 3 1 1 (内線 2 1 1)

E-mail: yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。